

グローバル調達体制によるグリーン調達

富士通グループでは、お客様に環境負荷の少ない製品・サービスを提供するために、グローバル調達体制によるグリーン調達をお取引先とともに推進し、地球環境の保全に努めています。

富士通グループ グリーン調達基準

富士通グループは、環境に配慮した部品・材料や製品の購入に関するグリーン調達についてのお取引先への基本的な要求事項を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、お取引先とともにグリーン調達活動を推進し、地球環境の保全に努めています。

- [富士通グループ グリーン調達基準](#)

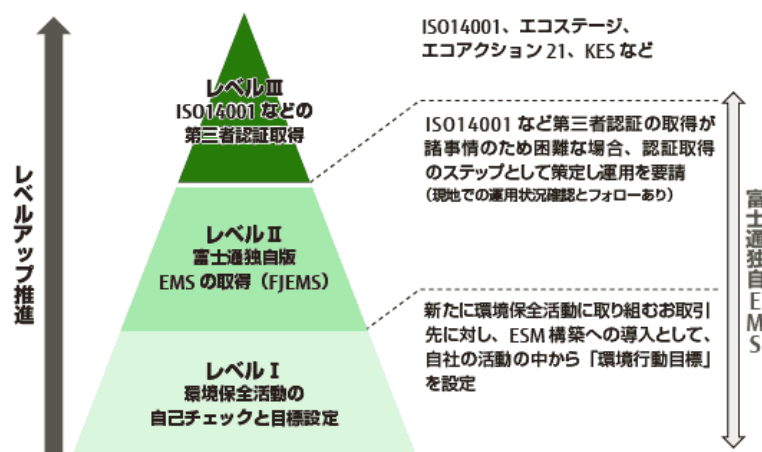
お取引先に求めるグリーン調達の要件

富士通グループでは、グリーン調達活動の要求事項として、お取引先に以下の要件をお願いしています。

お取引先の環境マネジメントシステム（EMS（注1））の構築

お取引先における環境負荷低減活動を継続的に実践していただくため、すべてのお取引先に、原則として第三者認証EMSの構築をお願いしています。また、第三者認証EMSの早期構築が困難なお取引先のために、富士通グループ独自のEMSを提供し、認証取得までの支援をしています。お取引先のEMSレベルについては、富士通グループ独自の調査票によって、定期的に調査しています。

グリーン調達における EMS 構築



(注1) EMS :

Environmental Management System の略。

お取引先における「CO₂排出抑制／削減」と「生物多様性保全」への取り組み推進

富士通グループは、第6期環境行動計画において「CO₂排出抑制／削減」および「生物多様性保全」を推進しており、すべてのお取引先に対しても、これら2テーマへの取り組みをお願いし、サプライチェーン全体での取り組みの浸透を推進しています。

具体的には、部材系お取引先の取り組み実施率（社数ベース）を2012年度末までに100%とすることを目標に掲げており、目標達成に向けて、お取引先の活動の評価指標「取り組みステージ」を定め、指標に沿った活動を要請しています。

「CO₂排出抑制／削減」については、電力使用量由来のCO₂排出量を算出するツールを作成し、お取引先に提供しています。このツールには月ごとのCO₂排出量削減計画を自動算出する機能があり、主に今までCO₂排出量削減の数値目標を持たなかったお取引先が、現状の排出量を把握し、新たに削減目標を立てるためにご利用いただいています。

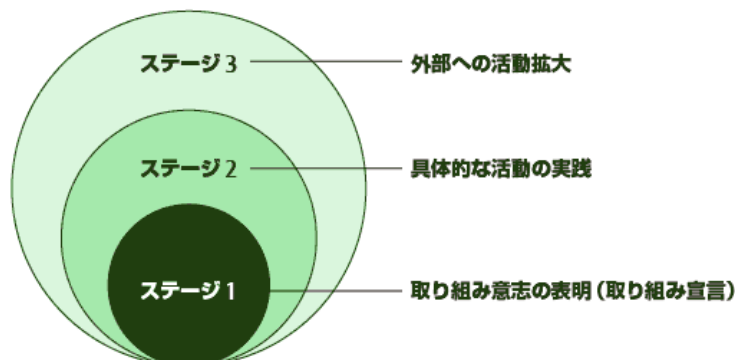
「生物多様性保全」については、活動の詳細な説明と取り組み事例を掲載したガイドラインや、現時点の取り組み状況が容易に判定できるチェックツールを作成し、お取引先に提供しました。これらの資料は、生物多様性保全の重要性を理解するとともに、日常的な環境活動と生物多様性の関わりを認識し、お取引先により身近な課題として取り組んでいただくことを目的としています。

また、取り組みをお願いするだけでなく、これら2テーマに関するお取引先向けセミナーを開催し、「なぜ取り組みが必要なのか」「まず何から取り組むと良いか」などについて、具体的な事例とともにご紹介しています。2010年度と2011年度は、合わせて7回のセミナーを開催し、お取引先70社にご参加いただきました。

これらの活動の結果、2テーマともに、2011年度の目標値である取り組み実施率80%以上を達成することができました。2012年度は、100%の達成を目指してお取引先との連携を強化し、さらなるステップアップを図ります。

活動の評価指標を策定

「取り組みステージ」という3段階の独自指標を設定し、お取引先にご協力をお願いしています。



トピックス

お取引先参加型の環境保全活動を開催

2011年10月30日、東豊田緑地保全地域（東京都日野市）において、購買本部主催による環境保全活動を開催し、お取引先に多数で参加いただきました。これまで、富士通グループでは多くの環境保全活動を実施していますが、お取引先にご参加いただく環境保全活動は、今回が初めての試みでした。

今回の活動は、お取引先における生物多様性保全活動の開始の「きっかけ」にさせていただきたいとの思いで企画・開催したものです。

当日は、お取引先10社13名にご参加いただきました。当社からは購買本部、環境本部の両本部長ならびに購買本部の幹部社員ら総勢15名が参加し、アズマネザサ刈りや倒木の整理を行いました。また、作業の合間には緑地内の自然観察を行い、人手による定期的な里山保全活動の重要性について、認識を新たにしました。今後も継続的に活動を展開していきます。



環境保全活動の様子

お取引先における含有化学物質管理システム（**CMS**（注2））の構築

お取引先において化学物質を適正に管理していただくため、**JAMP**（注3）の「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（**CMS**）の構築をお願いしています。具体的には、富士通グループの部材系お取引先の製造拠点を監査し、管理体制が不十分だった場合は是正の要請と支援を行うことで、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。また、**CMS**構築が確認できたお取引先に対しては、定期的に運用状況を確認しています。富士通グループでは、今後も法規制順守のため、**CMS**構築活動を継続していきます。

（注2）**CMS**：

Chemical substances Management Systemの略。

（注3）**JAMP**：

Joint Article Management Promotion-consortiumの略。アーティクルマネジメント推進協議会。

製品の含有化学物質管理における、お取引先との協働

富士通グループは、欧州の**REACH**規則をはじめ、今後日本や世界で要求される新しい化学物質規制に対応するため、2011年6月から**JAMP**が策定した**AIS**（注4）、**MSDSplus**（注5）による調査を開始しています。開始に先立ち、同年5月に国内の加工系お取引先**73**社を対象に、**AIS**の作成方法に関する説明会を実施しました。さらに6月には、中華圏のお取引先**17**社を対象に説明会を実施しました。説明会ではパソコンを用いた演習を行い、**AIS**の作成方法を習得していただきました。



説明会（国内）の様子

お取引先と富士通グループとの間は、インターネット調達を実現する富士通グループ製品「**ProcureMART**」（注6）で連携し、購買業務と化学物質調査を1つのインターフェースで実現しています。また、お取引先から送られた化学物質情報の管理には、富士通グループ製品「**PLEMIA/ECODUCE**」（注7）を活用し、グループ内で情報を共有しています。

富士通グループは、**JAMP**などの業界団体が推進するグリーン調達調査の標準化活動に積極的に参画しており、今後もサプライチェーンにおける調査の効率化を推進していきます。

（注4）**AIS**：

成形品に含まれる化学物質情報を伝達するための情報伝達シート。

（注5）**MSDSplus**：

化学物質・調剤に含まれる化学物質情報を伝達するための情報伝達シート。

（注6）**ProcureMART**：

生産材の調達業務をインターネットで実現するサービス。

(注7) PLEMIA/ECODUCE：
製品含有化学物質管理システム。

環境技術による製品価値向上への取り組み（環境技術提案の募集）

富士通ではグリーンICTの提供を通じた環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」を実現するために、お取引先から環境技術や材料を提案していただき、優れた提案については設計開発部門にタイムリーかつ横断的に採用を提案するという活動を実施しています。

お取引先からいただいた提案内容については、専門部門で評価し、優秀な提案の採用を検討するとともに、情報はすべて社内データベースに蓄積し、富士通社内で共有・展開しています。富士通では、今後も優れた環境技術や材料を積極的に採用し、環境性能に優れた製品の開発と提供を推進していきます。

なお、富士通の求める環境技術や提案の方法の詳細については、下記URLをご参照ください。

- [環境技術提案の募集について](#)

「Green Policy Innovation」実現のためのインフラ構築

